

## 推薦図書コーナーへのお誘い

名古屋図書館

名古屋図書館には法学部、経営学部、現代中国学部の学生の皆さんにおススメの本を紹介するコーナーがあります。図書館の入門ゼミを受けた人には案内していますが、今回は経営学部の国際経営コース推薦図書をご紹介します。このほかにも多くの本がコメントつきで展示してあります。是非、図書館に来て手にとって見てください。



### ニューヨークのミステコ族

池森 憲一 著

米国の底辺を支えるヒスパニック族系移民の実態を名古屋出身のジャーナリストが描いた秀作ルポルタージュ。筆者が実際に交流した人々について描いているので、海外の知識がない人にもお勧め。

### テヘラン商売往来

岩崎 葉子 著

イラン商人の商売の仕方などを具体的に示すことによって、とっつきにくく思えるアラブ世界に関してわかりやすく示している。アラブ初心者にはお勧めの本。

### テルの革命

マイケル・テル、キャザリン・フレッドマン 著

現在、世界のPCのトップシェアを誇るテルの経営について、創業者マイケル・テル自ら述べた本です。世界的な企業家の伝記としても非常に面白い読み物ですが、情報技術の進展が企業の組織や戦略の変化にどのような影響を与えてきたかという問題の理解にも大きく役立ちます。

### グローバル・ブランド管理

大石 芳裕 編著

国際マーケティングにおいて重要度を高めるブランドに関して、理論と実証の両面から示している。グローバル・ブランドに関して突っ込んだ勉強をしたい人にはお勧め。

### 経営史講義 [第2版]

大河内 暁男 著

この本では、主に産業革命期に始まるイギリスの近代企業の成立から、アメリカにおける巨大企業の発展までを扱っています。なぜアメリカでフォードのような巨大企業が生まれたかなど欧米の企業の歴史に興味のある学生は是非読んでみてください。

また、現代経営学の基礎は、当時のアメリカで生まれました。ですから、例えば集権的職能性から分権的事業部制へといった組織の面、テイラーの科学的管理法やホーソン実験といった管理の面などの経営学の基本的な側面を勉強するのにも役立ちます。

### 世界を制した中小企業

黒崎 誠 著

国際的に活躍している日本企業はトヨタやSONYといった大企業だけではなく、中小企業であっても世界トップシェアを誇る日本企業はたくさんあります。この本は、そうした世界的に活躍している日本の中小企業のケースを集めた本です。読み物として非常に面白いのはもちろんのこと、国際経営論や戦略論、中小企業論、イノベーション論など経営学の様々な領域の理解にも大きく役立ちます。

### 日本の競争戦略

マイケル・E・ポーター、竹内 弘高 共著

戦略論の第1人者であるポーターが、90年代後半以降の日本企業の国際戦略について述べた本です。これまで日本企業の製品は、価格や品質の面で、外国の企業の製品との間に大きな差をつけていました。しかしポーターは、すでに外国企業は価格や品質の面で日本製品に追いついているため、日本企業にはこれまでとは違った独自の戦略が求められていると述べています。これからの日本企業の国際競争に興味がある学生は是非読んでみてください。皆さんもよく知っている日本企業のケースがたくさん出てきて面白く読めます。